

エドワード・ゴリーを巡る旅

Journey to the World of Edward Gorey



(左) エドワード・ゴリー『不幸な子供』挿絵・原画、1959年／(真ん中) エドワード・ゴリー『蒼い時』挿絵・草稿、1974年／(右) エドワード・ゴリー『音叉』挿絵・原画、1983年
©2022 The Edward Gorey Charitable Trust

1 開催趣旨

不思議な世界観と、モノトーンの緻密な線描で、世界中に熱狂的なファンを持つ絵本作家エドワード・ゴリー(Edward Gorey,1925-2000)。近年、日本でも『うろんな客』『不幸な子供』などの絵本が次々と紹介されてきました。ゴリーは、自身がテキストとイラストの両方を手掛けた主著(Primary Books)以外にも、挿絵、舞台と衣裳のデザイン、演劇やバレエのポスターなどに多彩な才能を発揮しました。

本展は、そんな作家の終の棲家に作られた記念館・ゴリーハウスで開催されてきた企画展から、「子供」「不思議な生き物」「舞台芸術」などのテーマを軸に約250点の作品・資料で再構成するものです。米国東海岸の半島に残る古い邸宅へと旅するように、達観したクールな死生観を持つ謎めいた作品との邂逅をお楽しみください。

2 会期・会場・主催

会期：令和6（2024）年7月6日(土)～9月1日(日) 休館日：8月5日(月)

*展示替え有 前期7月6日(土)～8月4日(日)、後期8月6日(火)～9月1日(日)

会場・主催：横須賀美術館（神奈川県横須賀市鴨居4-1）

問い合わせ先：横須賀市コールセンター 046-822-4000（月～金曜日：8:00～18:00、土日・祝休日：8:00～16:00）

3 観覧料

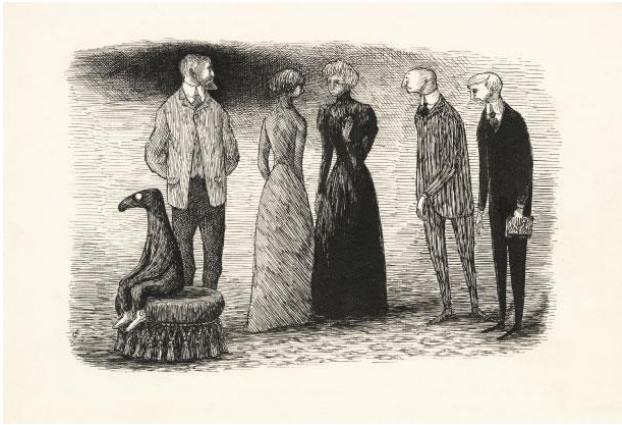
一般 1,300（1,040）円、高大・65歳以上 1,100（880）円 中学生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金 *高校生（市内在住または在学に限る）は無料

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料

●見どころ1

世界中にファンをもつエドワード・ゴリーの15タイトル以上の絵本原画を大公開



『うろんな客』挿絵・原画、1955年
©2022 The Edward Gorey Charitable Trust

『ギャッシュリークラムのちびっ子たち』『うろんな客』『優雅に叱責する自転車』『不幸な子供』『蒼い時』『敬虔な幼子』『ジャンブリーズ』『蟲の神』

『思い出した訪問』『失敬な召喚』『音叉』『狂瀾怒濤 あるいはブラックドール騒動』『金箔のコウモリ』『薄紫のレオタード』といった日本語でも読める作品から、『恐るべき赤ん坊』『中国風オペリスク』『具体例のある教訓』といった日本未刊行の絵本の原画を多数ご覧になれます。

●見どころ2

挿絵や舞台衣装のデザイン、演劇やバレエのポスターなど多彩な才能を紹介



(左) エドワード・ゴリー
「無題(妖精のようなバレリーナ)」

(Ogdred Mude (ゴリーのアナグラム) によるオリジナル作品)、1980年頃

(右) 『ドラキュラ・トイシアター』挿絵・原画、1979年頃

©2022 The Edward Gorey Charitable Trust

ニューヨーク・シティ・バレエ (NYCB) を心から愛し、1956年頃からジョージ・バランシン (振付師) が亡くなるまで、ほぼすべての公演を見たといわれるゴリーは、その広告や商品デザインも担当していました。加えて、ミュージカル劇の舞台衣装や舞台装置、テレビ番組のオープニング・アニメーションなども手掛けていたそうです。本展ではそれらの原画やリーフレット等もご紹介します。

●見どころ3

幼少期のスケッチやイラストなどからゴリーの子ども時代を振り返ります

テッドという愛称で呼ばれていた幼い頃の絵や、文学に目覚めた少年期に描いたとされる手紙やテキストを伴った絵、そして起承転結のない、不気味な雰囲気を漂わせる骨ばった手の連作なども展示し、ゴリーの子ども時代を振り返ります。



エドワード・ゴリー「音楽を奏でる3匹のねこ」
(子供時代のドローイング)、1935年頃

©2022 The Edward Gorey Charitable Trust

【要旨用短文】

100字

250点におよぶ原画を「子供」「生き物」「舞台芸術」「本作り」といったテーマに分けて展示し、加えて貴重なドキュメンタリー映像なども併せて、エドワード・ゴッシーの多岐にわたる制作活動を紹介します。

50字

「子供」「生き物」「舞台芸術」「本作り」をテーマに、エドワード・ゴッシーの多岐にわたる制作を紹介

20字

エドワード・ゴッシーを250点の原画で紹介

プレスリリース関連の問い合わせ先 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ <https://www.yokosuka-moa.jp>

Eメール kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関する事 総務係：安陪、池田 電話 046-845-1211

○展示内容に関する事 担当学芸員：中村、日野原 電話 046-845-1212

【図版の使用等について】

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制限がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館「総務係」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕もってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「総務係」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合がございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌（紙）、媒体（DVDなど）、URLなどを「総務係」あてに1部以上お送りください。

【プレゼント用招待券について】

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を20枚（10組20名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

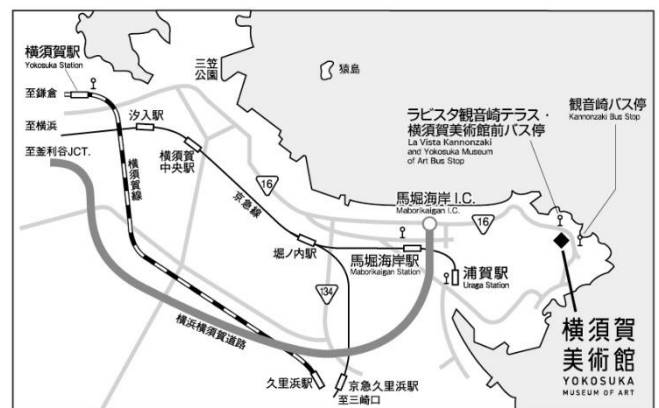
【交通のご案内】

■電車をご利用の場合

- *京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」
下車徒歩2分
- *京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩5分

■車をご利用の場合

- *横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km（約5分）






エドワード・ゴーリーを巡る旅

Journey to the World of Edward Gorey

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館 行き

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10 組分／20 枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版に をつけてください。

<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<p>エドワード・ゴーリー『不幸な子供』 挿絵・原画、1959 年 ©2022 The Edward Gorey Charitable Trust</p>	<p>エドワード・ゴーリー『蒼い時』 挿絵・草稿、1974 年 ©2022 The Edward Gorey Charitable Trust</p>	<p>エドワード・ゴーリー『音叉』 挿絵・原画、1983 年 ©2022 The Edward Gorey Charitable Trust</p>

必ずご記入ください⇒ 貴社名 _____ TEL _____

貴誌（紙）名 _____ ご担当者様お名前 _____

メールアドレス（画像データ送付先） _____

ご要望事項（サイズ・解像度など） _____

チケットプレゼント用招待券 希望する 希望しない _____

ご住所（チケット送付先） _____